

心豊かでたくましい

生徒の育成

大代中教頭 高瀬 潔

四月始めには、登校路や公民館の前の桜が、高山を背景に美しく咲いていました。五月には、紫の藤の花が新緑の木々に彩りをそえています。

このような美しい自然環境の中にある大代中学校に勤務させて頂く事になり感謝しています。

さて、大代中の生徒は小人数であり生徒会も学校行事も、一人ひとりが主役の気持ちでやっています。

一人ひとりがみんな役割を持ち責任を果たして活動に参加し盛り上げていく姿は、他校では見られないすばらしいものです。又今年は学校の方針で二人担任制でやっておりますが、二人だけでなくどの先生も自分が担任のつもりで十八名の生徒を見守り指導しています。このことも大きな特徴と 생각합니다。

先日は高山登山遠足を行いました。地区の皆さんと一緒に登山をし、気持ちの良い一日を過ごす事が出来ました。今後、行われる田植囃子公演や秋の体育祭、文化祭などでも地区の皆さんの協力を得て一緒に活動することになると思いますが、私はこのような活動を通して色々な方々との出会いを大切にしていこうと思います。

今年度は大田市指定の同和教育研究発表大会が開かれる予定です。一人ひとりが大切にされ、お互いが心と心を通い合わせる中に行われる大代中学校の教育実践を他の地区の皆さんに紹介できるよい機会であると思います。

この大会につきましても、PTAの方々始め、地区の皆様のご協力ご支援をよろしくお願いします。

地域に根差した教育を進める一方で21世紀を生きる生徒にとっては、広い視野をもった教育が望まれるところです。

自分が生まれ育った地域に誇りを持ち、新しいもの、異質なものにもチャレンジし、良いものは積極的に身に付けて自分の道を切り開いていく、心豊

かでたくましい生徒を育成していきたいと思えます。

寿会の公民館への

奉仕活動

公民館長 田辺 孝



今、大代公民館の道路側の土手は、さつきの花の最盛期で、色とりどりの花を咲かせています。道行く人の心をなごましてくれていきます。

このように美しい環境に作り上げていただいているのは、大代町の寿会の皆様方の奉仕活動のお陰です。

四月二十五日午前九時から午前中いっぱい公民館の土手の下刈りにまた除草に、汗を流していただきました。

寿会の毎年の奉仕活動の累積が、今日の見事なさつきの花の土手となって私たちを楽しませてくれるのです。

私たちは日の出を拝む人はいても、夕日に感謝する人は少ないといわれます。ひがな一日を地球の上に恵みをもたらしてきた太陽の残照のように、永い生

母の日(5月13日)

才2日曜日



涯を社会につくしてこられた寿会の皆さん、なお老いて美しくを体を張って頑張っていただいてることを私たちは忘れてはならないと思います。寿会の人たちに感謝して暮らしたいものです。

大代公民館を美しい公民館へと奉仕していただきました事に対し、心から厚くお礼申し上げます。

かけがえのない地球に

私達の愛を！



婦人会長 後藤マサエ

環境月間五月十日より

家庭から流す生活雑排水が60%も河川を汚しているそうです。排水される汚水量を少しでも少なくすれば、その分だけ水質は向上する事になります。県連婦は行政と対アップして水の浄化運動を行うことになりました。

◎米のとき汁は庭や植木にやりましょう。

◎皿やなべについている汚れは紙で拭き取ってから洗うようにしましょう。

◎調理くずはゴミに出すか、たい肥作りを兼ねて土に戻しましょう。

◎洗剤物は水洗いをしてから本洗いを洗剤は少なめにしましょう。

◎廃食油はそのまま流さず紙に吸い込ませゴミとして出すか焼くか土に返しましょう。(畑の野菜作りに)

◎野積みになされてるふん尿が流れ出ないようにしましょう。

◎事業所から出る汚濁水は防止法の規制にかからないようにしましょう。

◎今流行の朝シャンも大量の汚濁水を(BOD三グラム、五グラム)増大させてるそうです。

私達と共に暮らす生き物に清らかな水を、そして一人ひとりの細かな愛と思いやりを、つりざおをかづく子や孫のため、美しい地球環境を残してやるうではありませんか。

平成二年(一九九〇年)は

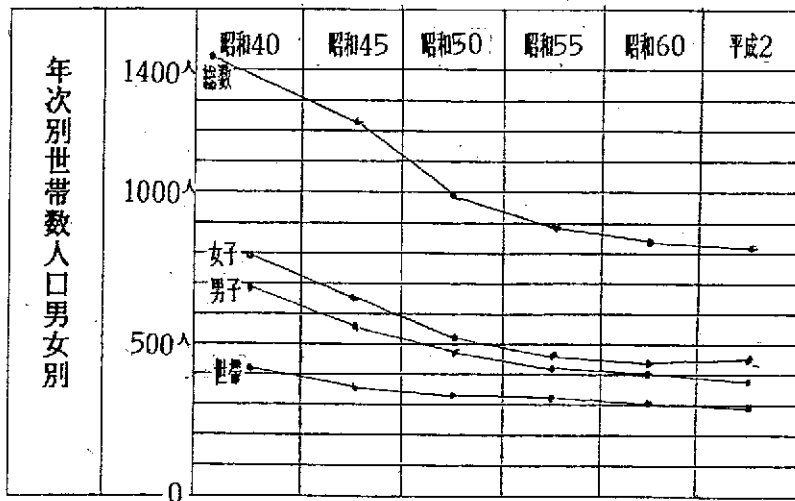
国勢調査の年

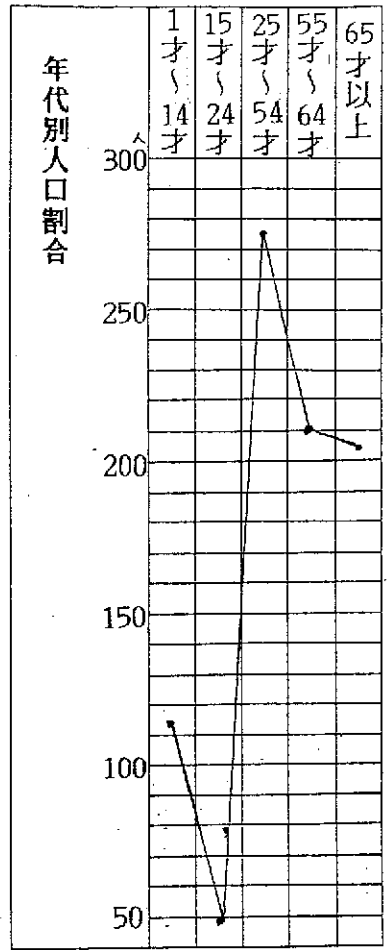
昭和40年から平成2年迄の統計によれば400戸有った世帯が100世帯減の300戸となり、人口も之に沿って1438人が830人と大きく減少しています。

昭和60年の調査に選んで大きく区分すると14才以下の人が114人、25才迄48

人、54才迄の人274人、64才迄210人、65才以上が203人となっている。中でも54才から64才迄(10年階級)が際立って多い。

これらの人口を総括して言えるのは現在(平成二年四月)男女併せて830人の内450人が60才以上と推計される。グラフで示すと次の通りとなる。





## 丈夫な歯は健康のみなもと

### ― 6月4日は虫歯予防デー ―

いま、日本人の虫歯人口は10人中9人。一方、歯槽膿漏しやうろうの人も40歳以上で90%以上に達する。虫歯や歯槽膿漏は、放置すると他の病気の引き金とも。たかが虫歯と考えず、ざれど虫歯の立場で、せひ早急に対策を講じたい。虫歯・歯槽膿漏も、成人病と同様、ふだんの生活がつくり出す、いわば「習慣病」。したがってライフスタイルの改善で十分予防は可能。「丈夫な歯なくして健康なし」――このことをまず肝に命じて、さあ、口の

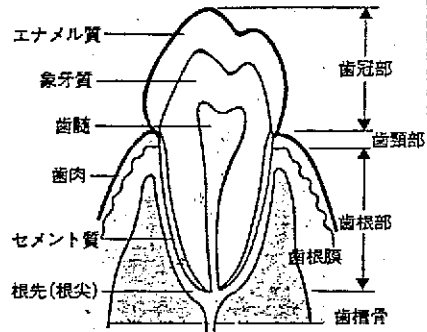
### 一生自分の歯で食べよう

一時、しょうゆ顔とかソース顔とかが話題になったことがありました。日本人の若い人たちの顔の形は、たしかに変わってきています。テレビなどに登場する若いタレントの顔を見ると、さやしゃなあごの持ち主ばかりが目立ちます。映画の「トラさん」のように、立派なあごをもった人には、めったにお目にかかれま

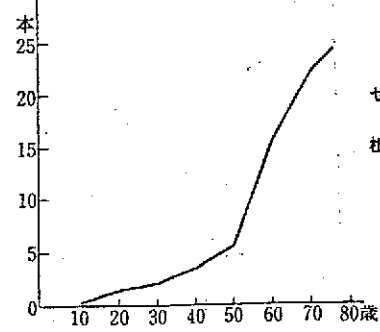
### せん。

その大きな原因は、あまりかたい物を食べなくなったこと。いつも、やわらかい物ばかり食べていたのでは、あごが発達しないからです。あごが未発達だと、歯が生えてくるスペースが狭くなって歯並びが悪くなり、八重歯や乱れい歯が増えてきます。歯並びがよくないと、虫歯にな

### ● 歯の構造



### ● 1人平均の歯を失った本数 (厚生省調べ)



### お知らせ

豊田市大林町山根哲様より  
公民館宛金一封の御寄贈を頂きました。

下市 今田文子様より

5月5日、子供の日に子供達に多くさんのジュースを頂きました。

以上厚く御礼を申し上げます。